

令和4年度公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会事業報告書

I 概要

当協会は、鹿児島市のスポーツ振興を担う中核的な組織として、令和2年4月の設立以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら活動を続けていたが、当年度は徐々にその影響が緩和され、より多くのスポーツイベントを開催できた。

開催できたスポーツイベントでは、感染拡大防止策を講じながら、小学生から高齢者まで年代毎にターゲット層を分けたものや、親子や幅広い世代の方々が一緒に参加してもらえるもの等、より多くの市民に、スポーツに親しむきっかけとしてもらえるよう、既存事業の再構築や新規事業に取り組んだ。

特に、令和5年3月に策定された「第2期鹿児島市スポーツ推進計画」においても課題とされているように、子どもの体力低下が危惧されているなか、小学生向けの大規模なスポーツ体験会や、運動が得意でない子でも参加しやすい体力アップ教室等を開催し、運動の楽しさや魅力を感じてもらえるようなイベントを実施した。

また、当協会設立後に新たに取り組んだ主催事業のうち、ヨガ教室やウォーキングイベントについては、一定の参加者数を確保しながら実施回数を増やし、当協会の人気イベントとして定着してきている。

以上の結果、当協会主催事業の参加者（注1）は3,134人（前年度比89.0%増）となった。

（注1）当協会主催事業の参加者とは、以下を除いたものです。

- ・鹿児島地区駅伝運営委員会事務局が運営する大会・イベントの参加者
- ・南日本U-12サッカー大会事務局が運営する大会の参加者
- ・南日本小学生バレーボール大会事務局が運営する大会の参加者
- ・各競技団体が運営する鹿児島市民体育大会の参加者
- ・鹿児島県民体育大会 鹿児島地区チームが派遣する大会参加者

II 事業活動の状況

1 地域におけるスポーツ振興及びスポーツ大会等の開催・支援に関する事業

(1) スポーツ教室の企画・運営

定期的・継続的な運動を始めるきっかけづくりとして、初心者でも気軽に参加できるスポーツ教室・イベントを開催した。

① ニュースポーツ体験講座

スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち2地域で、年齢や体力に関わらず「いつでもどこでもだれでも」プレーできるニュースポーツに触れ合う機会を創出し、スポーツを気軽に楽しみ、活動できるきっかけづくりや生涯スポーツの振興を図った。

イベント名	日程	開催地	参加数
ニュースポーツ体験講座 (ニチレクボール、玉入れ、囲碁手玉)	令和4年6月25日	東桜島中学校	18人
出前授業(ボッチャ体験)	令和5年1月14日 令和5年2月7日	桜丘西小学校	163人

② タグラグビー体験講座

鹿児島県ラグビーフットボール協会に講師派遣を依頼し、スポーツ推進委員の運営のもと、小学生を対象にタグラグビーの普及・振興を図った。全4回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響や荒天等により3回は中止となった。

イベント名	日程	開催地	参加数
タグラグビー体験講座	令和4年5月	大龍小学校	中止
	令和4年6月18日	石谷小学校	25人
	令和4年6月19日	喜入小学校	中止
	令和4年9月17日	郡山小学校	中止

③ チャレンジ・ザ・トップアスリート

本市に拠点を置くスポーツチームの選手とニュースポーツで交流することで、運動を始める機会を創出するとともに、チームへの興味・関心の向上につなげた。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
トップアスリートと大運動会	令和5年2月5日	鹿児島アリーナ	189人	248人	150人

※参加チーム…エクスプローラーズ鹿児島、鹿児島ドリームウェーブ、トヨタカローラ鹿児島、
鹿児島銀行陸上部、鹿児島レブナイズオフィシャルチアダンスチーム「レイベス」

④ どこでもヨガ教室

市内の公園や観光地等でヨガ教室を行い、心身の健康づくりを図った。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
春ヨガ in グリーンファーム	令和4年4月10日	グリーンファーム	17人	22人	40人
船上ヨガ	令和4年5月28日	桜島フェリー	31人	40人	50人
水族館朝ヨガ	令和4年6月12日	かごしま水族館	29人	99人	30人
磯ビーチヨガ	令和4年7月23日	磯海水浴場	60人	103人	70人
水族館朝ヨガ	令和4年8月27日	かごしま水族館	28人	56人	30人
船上ヨガ	令和4年10月1日	桜島フェリー	37人	47人	60人
秋桜ヨガ@都市農業センター	令和4年10月30日	都市農業センター	77人	86人	40人
冬の水族館ヨガ	令和5年1月21日	かごしま水族館	23人	52人	30人
仙巖園ヨガ	令和5年2月12日	仙巖園茶室	33人	43人	30人
春ヨガ	令和5年3月25日	都市農業センター	38人	54人	50人
計			373人	602人	-

⑤ スポーツ教室

初心者でも気軽に参加できるスポーツ教室を市内の様々な施設等で開催し、運動の楽しさを感じてもらうとともに、心身の健康を育む機会を創出した。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
ゆるっとダイエット教室	令和4年10月7日	青年会館	28人	30人	30人
かごスポ親子教室	令和4年11月6日	長田中学校	26人	57人	80人
	令和5年3月18日	鹿児島アリーナ	83人	117人	100人
BOXING × EXERCISE	令和4年11月19日	広木小学校	44人	58人	30人
Re チャレ部 (バレーボール教室)	令和5年2月26日	鹿児島アリーナ	31人	41人	40人
計			212人	303人	-

⑥ 県下一周駅伝選手によるランニング教室

県下一周駅伝鹿児島チームの選手と一緒に走ることができるランニング教室を開催することで、個々の走力向上及び体を動かすことの楽しさを覚える機会を創出するとともに、県下一周駅伝競走大会への興味・関心の向上につなげた。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
県下一周駅伝選手による ランニング教室	令和4年10月23日	鴨池補助競技場	39人	41人	100人

⑦ 鹿児島銀行陸上部によるマラソン教室

小学校の持久走大会の時期に、鹿児島銀行陸上部によるマラソン教室を開催することで、小学生の走力向上及び運動することへの興味や楽しさを覚える機会を創出するとともに、鹿児島銀行陸上部への興味・関心の向上につなげた。

イベント名	日程	開催地	参加数	対象
鹿児島銀行陸上部による 「出張ランニング教室」	令和4年12月6日	大明丘小学校	134人	4・6年生
	令和4年12月7日	八幡小学校	99人	6年生

(2) 各種事業の運営

① マリンスポーツ普及事業

錦江湾を活かし、市民を対象としたヨット及びシーカヤックの体験及び初歩的な技術や知識の習得機会を作り、マリンスポーツの普及と振興を図った。

～詳細、次頁表のとおり～

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
ジュニアヨット教室 (中学生以下)	令和4年5月15・21・22・28・29日(全5日間)	平川ヨットハーバー	30人	63人	30人
かごしまヨット教室 (高校生以上)	令和4年5月15・21・22・28・29日(全5日間)	平川ヨットハーバー	13人	16人	20人
シーカヤック体験講座 (親子)	令和4年5月22・29日、 6月12日、9月4日(全4日間)	磯海水浴場、 生見海水浴場	98人	648人	100人
シーカヤック体験講座 (一般)	令和4年5月22・29日、 6月12日(全3日間)	磯海水浴場、 生見海水浴場	46人	65人	60人
ヨットとふれあう 体験帆走	令和4年7月2・3・23日、 8月7日(全4日間)	平川ヨットハーバー	298人	384人	320人
イルカ水路で 親子シーカヤック体験	令和4年10月22日	かごしま水族館イルカ水路	26人	50人	30人
計			511人	1,226人	-

② 地域スポーツ教室等

スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち4地域で、ルールや技術が比較的簡単で誰でも安心して楽しめるスポーツを通して、運動の楽しさを感じてもらうとともに生涯スポーツの振興を図った。

イベント名	日程	開催地	参加数
ふうせんバレー教室	令和4年7月15・29日、8月5日 (全3日間)	錫山小学校	81人
モルック・パルクール・ ふうせんバレー教室	令和4年8月19日、11月19日、 令和5年1月21日、2月4日 (全3日間)	清和小学校	119人
パークゴルフ・ソフトバレー・ ペタンク教室	令和4年10月9日、11月13日 (全2日間)	かごしま健康の森公園、 伊敷台中学校	106人
ボッチャ教室	令和4年10月13日	吉田文化体育センター	18人
計			324人

③ 市民体力テスト

一般成人を対象に、文部科学省の定める体力テストを実施した。

イベント名	日程	開催地	参加数
市民体力テスト	令和4年10月2・13・16・18日(全4日間)	荒田小学校、他3箇所	135人

(3) 鹿児島地区駅伝運営委員会事務局の運営

「鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会」と「鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」の鹿児島地区駅伝運営委員会事務局として、鹿児島地区チームの選手を育成し、大会の参加、派遣などの運営を行った。

また、中学生を対象とした「あすなる杯」や小学生を対象とした走り方教室を実施することで、駅伝に対する興味を深め、次世代選手の発掘、育成及び競技力の向上を図った。

イベント名	日程	開催地	成績
鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会	令和 5 年 1 月 29 日	霧島市隼人運動場 スタート・ゴール	2 位
鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会	令和 5 年 2 月 18～22 日 (全 5 日間)	鹿児島県内各地	総合 2 位

イベント名	日程	開催地	参加数
あすなる杯、 南日本 10 km ロード通信競技大会	令和 4 年 12 月 11 日	桜島溶岩グラウンド 周辺	267 人
県下一周駅伝・県地区女子駅伝選手と走ろう「小学生走り方教室」	令和 5 年 3 月 19 日	鹿児島ふれあいスポーツランド	111 人

(4) 南日本 U-12 サッカー大会事務局の運営

鹿児島市と南日本新聞社が主催する小学生サッカー大会の実行委員会の事務局として、3 年ぶりに大会を開催し、サッカー少年の技術の向上と心身の育成及びスポーツ振興につなげた。

イベント名	日程	開催地	参加数
南日本 U-12 サッカー大会	令和 4 年 8 月 20～24 日 (全 5 日間)	桜島溶岩グラウンド 多目的広場	117 チーム 5,287 人

(5) 南日本小学生バレーボール大会事務局の運営

鹿児島市と南日本放送が主催する小学生バレーボール大会の実行委員会の事務局として、大会運営を通じて鹿児島県内のバレーボールスポーツ少年団相互の親睦、心身の鍛錬及びスポーツの振興につなげた。

イベント名	日程	開催地	参加数
南日本小学生バレーボール大会	令和 4 年 8 月 3～7 日 (全 5 日間)	桜島総合体育館、 吉田文化体育センター	58 チーム 699 人

(6) 鹿児島市民体育大会の開催

本市における市民スポーツの振興と競技力の向上を図るために、市民体育大会を実施し、各競技団体へ開催経費の補助を行った。

イベント名	日程	開催地	参加数
第 56 回鹿児島市民体育大会	令和 4 年 6 月 26 日、他	鹿児島アリーナ、他	8,428 人

(7) 鹿児島県民体育大会 鹿児島地区チームの運営

県民体育大会へ鹿児島地区チームを派遣するため、代表選手の登録事務や参加経費の一部助成を行った。なお、9 月に開催予定であった競技は台風の影響により中止となり、10 月に予定されていた水泳、バドミントン、自転車競技の 3 競技のみ開催された。

イベント名	日程	開催地	参加数
第 74 回県民体育大会	令和 4 年 10 月 2 日、他	鴨池公園水泳プール、他	107 人

2 競技スポーツの振興に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

① 競技力向上のための講習会

スポーツ選手とその指導者等を集め、実技研修・指導者講習会を開催し、競技力の向上、指導者の資質向上を図った。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
競技力向上クリニック（体操）	令和 4 年 9 月 24・25 日	県補助体育館	19 人	-	-
競技力向上セミナー 「中野大輔さん講演会」	令和 4 年 9 月 25 日	鹿児島アリーナ サブアリーナ	50 人	50 人	200 人
競技力向上セミナー 「スポーツ栄養学」	令和 4 年 11 月 26 日	かごしま県民交 流センター	24 人	25 人	50 人
競技力向上セミナー 「トレーニング指導法」	令和 4 年 11 月 26 日	かごしま県民交 流センター	20 人	20 人	50 人
競技力向上セミナー 「発育発達に応じた指導」	令和 4 年 12 月 3 日	かごしま県民交 流センター	10 人	17 人	50 人
競技力向上セミナー 「スポーツ障害の予防と対策」	令和 4 年 12 月 3 日	かごしま県民交 流センター	12 人	15 人	50 人
募集イベント計（競技力向上クリニック除く）			116 人	127 人	-

② 加盟団体育成強化事業の支援

加盟団体 40 団体の内、育成強化事業を実施した 37 団体に対して、実施事業の経費を一部負担した。

(2) 国体強化指定選手等への施設利用調整支援

国体強化指定を受けている市内の高校の部活動を対象に、鹿児島アリーナメインアリーナの使用及び使用料減免に係る手続の支援を行った。

対象校	競技	回数
鹿児島商業高校	バドミントン	38 回
	バレーボール	4 回
鹿児島女子高校	バドミントン	33 回

3 青少年スポーツの促進及び団体の育成に関する事業

(1) スポーツ少年団本部の運営及び各団体への助言

スポーツ少年団本部事務局として、本部の運営を行うとともに団員等の登録事務や説明会の開催、団員及び指導者、役員・スタッフ、育成母集団の資質向上を図る研修の実施や各種行事の案内、競技別交歓交流大会等のイベントに係る費用助成の事務等を行い、スポーツ少年団の普及、育成及び活動の活性化を図った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ少年団活動の自粛等について、市教育委員会やスポーツ課等の関係機関と連携し、各団へ周知を図るなど、活動の安全対策に注力した。

[参考] 令和4年度のスポーツ少年団の登録状況 ※かつこ内は前年度比

団数	団員数	指導者数	役員・スタッフ数
255 団 (△19 団)	4,552 人 (△572 人)	732 人 (△98 人)	494 人 (△57 人)

(2) ジュニアスポーツの普及

① 体力アップ教室

市内の小学生を対象に、普段運動をしない児童でも参加してもらえるような、専門講師による体力アップ教室を実施し、運動の楽しさを知ってもらうきっかけを創出した。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
運動が得意になりたい人集まれ	令和4年11月20日	吉田文化体育センター	20 人	32 人	60 人
脚が速くなりたい人集まれ	令和4年11月23日	鹿児島国際大学 フィールドハウス	60 人	91 人	60 人

② スポーツ体験会

市内の小学生を対象に、当協会加盟団体等による多種目のスポーツ体験会を実施し、様々なスポーツへの興味・関心を持つきっかけを創出した。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
すぽどんジュニア スポーツEXPO	令和4年11月23日	鹿児島国際大学 フィールドハウス	117 人	147 人	300 人
すぽどんKIDS ワンデースクール	令和5年3月12日	鹿児島アリーナ	423 人	959 人	400 人

4 スポーツに関する団体及び人材の育成に関する事業及び無料職業紹介事業

(1) 地域スポーツクラブ活動活性化事業

鹿児島市が設立から支援している市内13の地域スポーツクラブに対して、スポーツ教室の運営を委託し、年間30時間以上の活動を実施した。また、各地域スポーツクラブの親睦を図るため、地域スポーツクラブ交流スポーツ大会を実施した。

(2) 本市出身選手等の地元企業への就職支援事業

本市での就職を希望するアスリートやスポーツ指導者と企業のマッチングを行うため、無料職業紹介事業を行った。求人情報の提供を行うとともに求職者からの問い合わせ等にも個別に対応したが、就職までは至らなかった。

事業所登録数	有効求人数	有効求職者数
12 社	3 人	2 人

5 スポーツに関する情報発信に関する事業

(1) 協会ホームページの管理・運営事業

協会ホームページを活用して、主催イベントの募集情報や開催報告など、当協会の活動に関する情報を積極的に公表及び周知を行った。

年間ホームページアクセス数	前年度比
124,762 件	154.9%

(2) SNS（インスタグラム等）を活用した各種情報発信事業

インスタグラムを中心に、ツイッター、フェイスブック等を通じて、当協会の活動実績やイベントの広報に関する情報を積極的に発信した。

(3) 協会会報誌作成

当協会の認知度向上及び市民へのスポーツ情報発信のため、年2回会報誌を発行した。また、より多くの市民に読んでいただけるように、当年度よりスポーツ振興くじ助成金を受け、内容の充実と発行部数の増加に取り組んだ。

発行日（号数）	発行部数	配布先
令和4年5月（第4号）	4,000 部	鹿児島市内のスポーツ施設、地域公民館、スポーツ少年団、学校等
令和4年11月（第5号）	4,000 部	

6 スポーツによる交流イベントの開催・支援に関する事業

(1) 本市の地域資源を活用したスポーツイベントの開催

関係団体との連携を図りながら、鹿児島市の自然・歴史・食・温泉・文化等の豊かな地域資源を有効活用し、テーマ別のウォーキングイベントを開催した。

イベント名	日程	開催地	参加数	申込数	定員
マグマウォーク	令和4年4月23日	桜島	52 人	71 人	30 人
世界遺産ウォーク ～関吉の疎水溝～	令和4年6月11日	下田町	17 人	34 人	30 人
日本遺産ウォーク ～喜入旧麓～	令和4年10月29日	喜入	34 人	41 人	40 人
第3回せごどんウォーク	令和4年11月27日	市内中心地	54 人	68 人	70 人
計			157 人	214 人	-

7 その他この法人の目的を達成するのに必要な事業

(1) 公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会表彰

長年にわたり本市スポーツの発展に功績があった2名と、令和3年度に優秀な成績を収めた個人3名、団体2チームに対して、令和4年8月16日に鹿児島市役所本館2階特別会議室で表彰式を実施した。

種類	被表彰者・チーム	所属団体
功労者表彰	田口 俊博	鹿児島市グラウンド・ゴルフ協会
	村田 智美	鹿児島市ボクシング協会
優秀選手表彰	竹下 愛美	鹿児島市ライフル射撃連盟
	山元 和	同上
	中間 遥斗	鹿児島市バトン協会
優秀チーム表彰	鹿児島県Aチーム	鹿児島市ソフトテニス連盟
	エクセルバトンスクール鹿児島	鹿児島市バトン協会

Ⅲ 会議に関する事項

1 理事会

令和4年度の理事会の開催状況及び議決事項は、次のとおりである。

区 分	開 催 日	議 決 事 項
第1回	令和4年5月12日 *決議の省略	➤ 評議員会の開催の件
第2回	令和4年6月3日	➤ 令和3年度事業報告及び決算の承認の件 ➤ 公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会表彰の被表彰者承認の件 ➤ 評議員会の開催及び招集の件
第3回	令和4年6月21日 *決議の省略	➤ 会長（代表理事）選任の件 ➤ 常務理事選任の件 ➤ 評議員会の開催の件
第4回	令和5年3月2日	➤ 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件 ➤ 職員就業規則の改正の件 ➤ 評議員会の開催及び招集の件

2 評議員会

令和4年度の評議員会の開催状況及び議決事項は、次のとおりである。

区 分	開 催 日	議 決 事 項
第1回	令和4年5月20日 *決議の省略	➤ 評議員選任の件 ➤ 理事選任の件 ➤ 監事選任の件
第2回	令和4年6月21日	➤ 令和3年度事業報告及び決算の承認の件 ➤ 理事選任の件
第3回	令和4年7月15日 *決議の省略	➤ 評議員選任の件
第4回	令和5年3月17日	➤ 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件

IV 役員等に関する事項

1 役員

令和5年3月31日現在の役員は、次のとおりである。

役 職 名	氏 名
会 長	下 鶴 隆 央
常務理事	湯 通 堂 直
理 事	福 留 明 人
理 事	前 田 伸 行
理 事	田 嶋 吾 富
理 事	大 瀬 克 広
理 事	栗 田 誠 一
理 事	今 村 仁
理 事	石 井 健 人
理 事	池 田 哲 也
理 事	水 流 弘 行
理 事	有 村 浩 明
監 事	高 橋 雷 太
監 事	小 林 拓 史

2 評議員

令和5年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職 名	氏 名
評 議 員	福 満 博 隆
評 議 員	吉 本 隆 哉
評 議 員	桑 原 祐 一
評 議 員	大 原 禎 久
評 議 員	赤 崎 誠
評 議 員	小 田 常 徳
評 議 員	安 楽 清 孝
評 議 員	有 川 達 也
評 議 員	具 志 堅 隆
評 議 員	上 宇 都 正 昭
評 議 員	井 元 康 博
評 議 員	奥 眞 一

V 登記事項

令和４年度の登記事項は、次のとおりである。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
令和４年５月２日	鹿児島県地方方法務局	➤ 代表理事の住所変更 ➤ 評議員の変更	令和４年３月１９日 他
令和４年６月１日	鹿児島県地方方法務局	➤ 評議員、理事及び監事の変更	令和４年５月２０日 他
令和４年７月４日	鹿児島県地方方法務局	➤ 理事及び代表理事の変更	令和４年６月２１日 他
令和４年７月２７日	鹿児島県地方方法務局	➤ 評議員の変更	令和４年７月１５日 他
令和５年２月２８日	鹿児島県地方方法務局	➤ 評議員の辞任	令和５年２月１４日

VI 加盟団体に関する事項

令和５年３月３１日現在の加盟団体数は、次のとおりである。

当年度末	前年度末	増減
40 団体	40 団体	なし

VII 賛助会員に関する事項

令和５年３月３１日現在の会員数は、次のとおりである。

種類	当年度末	前年度末	増減
団体会員	27 団体	27 団体	±0 団体
個人会員（家族会員含む）	100 名	80 名	+20 名

VIII 常勤の役員及び職員に関する事項

令和５年３月３１日現在の人員は、次のとおりである。

常務理事 兼事務局長	事務局次長	協会職員	嘱託職員
1 人	1 人	6 人	2 人
		事業班 4 人 総務班 2 人	事業班 2 人

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成１９年法務省令第２８号）第
34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和
3年度事業報告の附属明細書については作成していない。

令和4年度公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会決算報告書

I 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,738,246	10,539,327	△ 3,801,081
未収金	922,920	0	922,920
貯蔵品	125,279	260,907	△ 135,628
前払費用	111,148	163,624	△ 52,476
流動資産合計	7,897,593	10,963,858	△ 3,066,265
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,305,920	1,417,200	888,720
車両取得積立資産	1,021,317	171,125	850,192
特定資産合計	3,327,237	1,588,325	1,738,912
(3) その他固定資産			
車両運搬具	231,035	462,070	△ 231,035
什器備品	323,180	403,920	△ 80,740
その他の固定資産	8,400	8,400	0
その他固定資産合計	562,615	874,390	△ 311,775
固定資産合計	6,889,852	5,462,715	1,427,137
資産合計	14,787,445	16,426,573	△ 1,639,128
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	373,500	3,880,900	△ 3,507,400
未払費用	964,553	1,219,626	△ 255,073
預り金	525,288	564,246	△ 38,958
流動負債合計	1,863,341	5,664,772	△ 3,801,431
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,305,920	1,417,200	888,720
固定負債合計	2,305,920	1,417,200	888,720
負債合計	4,169,261	7,081,972	△ 2,912,711
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	7,618,184	6,344,601	1,273,583
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(1,021,317)	(171,125)	(850,192)
正味財産合計	10,618,184	9,344,601	1,273,583
負債及び正味財産合計	14,787,445	16,426,573	△ 1,639,128

Ⅱ 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	60	255	△ 195
基本財産運用益計	60	255	△ 195
特定資産運用益			
特定資産受取利息	6	2	4
特定資産運用益計	6	2	4
受取会費			
賛助会員受取会費	389,000	365,500	23,500
受取会費計	389,000	365,500	23,500
事業収益			
参加料収益	2,216,560	1,226,320	990,240
協賛金収益	500,000	500,000	0
その他事業収益	42,000	0	42,000
事業収益計	2,758,560	1,726,320	1,032,240
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	67,245,000	66,212,000	1,033,000
受取民間助成金	717,000	8,000	709,000
受取補助金等計	67,962,000	66,220,000	1,742,000
受取負担金			
受取負担金	400,000	400,000	0
受取負担金計	400,000	400,000	0
雑収益			
受取利息	0	10	△ 10
雑収益	2,140	533	1,607
雑収益計	2,140	543	1,597
経常収益計	71,511,766	68,712,620	2,799,146
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	24,133,458	23,413,175	720,283
退職給付費用	574,020	546,660	27,360
福利厚生費	3,958,131	5,101,928	△ 1,143,797
旅費交通費	34,800	45,560	△ 10,760
通信運搬費	262,701	224,112	38,589
車両運搬具減価償却費	231,035	231,035	0
什器備品減価償却費	41,360	41,360	0
消耗什器備品費	685,740	130,175	555,565
消耗品費	1,148,376	465,450	682,926
印刷製本費	467,909	48,689	419,220
燃料費	81,136	63,593	17,543
光熱水料費	301,098	266,350	34,748
使用料・賃借料	1,119,024	1,372,655	△ 253,631
保険料	190,310	190,310	0
諸謝金	1,391,435	1,134,947	256,488
支払負担金	5,857,908	4,628,300	1,229,608
支払手数料	12,885	0	12,885
委託料	6,725,582	5,671,929	1,053,653
事業費計	47,216,908	43,576,228	3,640,680

(単位:円)

科目	当年度	当年度	増減
管理費			
役員報酬	3,770,960	4,483,896	△ 712,936
給料手当	12,538,708	12,067,362	471,346
退職給付費用	314,700	303,420	11,280
福利厚生費	2,616,269	2,645,486	△ 29,217
会議費	30,265	63,392	△ 33,127
交際費（慶弔費）	41,530	4,851	36,679
旅費交通費	19,090	0	19,090
通信運搬費	157,146	200,932	△ 43,786
什器備品減価償却費	39,380	39,380	0
消耗什器備品費	368,720	4,125	364,595
消耗品費	229,731	190,771	38,960
修繕費	17,435	56,202	△ 38,767
印刷製本費	404,245	91,792	312,453
燃料費	13,837	0	13,837
光熱水料費	301,098	266,350	34,748
使用料・賃借料	1,156,506	1,785,220	△ 628,714
保険料	56,500	81,750	△ 25,250
租税公課	30,400	40,700	△ 10,300
広告宣伝費	16,500	0	16,500
支払負担金	348,400	458,000	△ 109,600
支払手数料	450,255	444,775	5,480
委託料	0	657,250	△ 657,250
諸会費	99,600	0	99,600
管理費計	23,021,275	23,885,654	△ 864,379
経常費用計	70,238,183	67,461,882	2,776,301
評価損益等調整前当期経常増減額	1,273,583	1,250,738	22,845
当期経常増減額	1,273,583	1,250,738	22,845
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	0	0	0
什器備品受贈益	0	0	0
固定資産受贈益計	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,273,583	1,250,738	22,845
一般正味財産期首残高	6,344,601	5,093,863	1,250,738
一般正味財産期末残高	7,618,184	6,344,601	1,273,583
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取補助金等計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,618,184	9,344,601	1,273,583

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息		60	60
基本財産運用益計		60	60
特定資産運用益			
特定資産受取利息	6		6
特定資産運用益計	6		6
受取会費			
賛助会員受取会費	389,000		389,000
受取会費計	389,000		389,000
事業収益			
参加料収益	2,216,560		2,216,560
協賛金収益	500,000		500,000
その他事業収益	42,000		42,000
事業収益計	2,758,560		2,758,560
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	43,810,000	23,435,000	67,245,000
受取民間助成金	709,000	8,000	717,000
受取補助金等計	44,519,000	23,443,000	67,962,000
受取負担金			
受取負担金	400,000		400,000
受取負担金計	400,000		400,000
雑収益			
受取利息			0
雑収益	534	1,606	2,140
雑収益計	534	1,606	2,140
経常収益計	48,067,100	23,444,666	71,511,766
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	24,133,458		24,133,458
退職給付費用	574,020		574,020
福利厚生費	3,958,131		3,958,131
旅費交通費	34,800		34,800
通信運搬費	262,701		262,701
車両運搬具減価償却費	231,035		231,035
什器備品減価償却費	41,360		41,360
消耗什器備品費	685,740		685,740
消耗品費	1,148,376		1,148,376
印刷製本費	467,909		467,909
燃料費	81,136		81,136
光熱水料費	301,098		301,098
使用料・賃借料	1,119,024		1,119,024
保険料	190,310		190,310
諸謝金	1,391,435		1,391,435
支払負担金	5,857,908		5,857,908
支払手数料	12,885		12,885
委託料	6,725,582		6,725,582
事業費計	47,216,908		47,216,908

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費			
役員報酬		3,770,960	3,770,960
給料手当		12,538,708	12,538,708
退職給付費用		314,700	314,700
福利厚生費		2,616,269	2,616,269
会議費		30,265	30,265
交際費（慶弔費）		41,530	41,530
旅費交通費		19,090	19,090
通信運搬費		157,146	157,146
什器備品減価償却費		39,380	39,380
消耗什器備品費		368,720	368,720
消耗品費		229,731	229,731
修繕費		17,435	17,435
印刷製本費		404,245	404,245
燃料費		13,837	13,837
光熱水料費		301,098	301,098
使用料・賃借料		1,156,506	1,156,506
保険料		56,500	56,500
租税公課		30,400	30,400
広告宣伝費		16,500	16,500
支払負担金		348,400	348,400
支払手数料		450,255	450,255
諸会費		99,600	99,600
管理費計		23,021,275	23,021,275
経常費用計	47,216,908	23,021,275	70,238,183
評価損益等調整前当期経常増減額	850,192	423,391	1,273,583
当期経常増減額	850,192	423,391	1,273,583
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益			0
什器備品受贈益			0
固定資産受贈益計			0
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	850,192	423,391	1,273,583
当期一般正味財産増減額	850,192	423,391	1,273,583
一般正味財産期首残高	3,829,595	2,515,006	6,344,601
一般正味財産期末残高	4,679,787	2,938,397	7,618,184
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金			0
受取補助金等計			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	7,679,787	2,938,397	10,618,184

IV 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額を限度として計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	1,417,200	888,720	0	2,305,920
車両取得積立資産	171,125	850,192	0	1,021,317
小 計	1,588,325	1,738,912	0	3,327,237
合 計	4,588,325	1,738,912	0	6,327,237

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当普通預金	2,305,920	(0)	(0)	(2,305,920)
車両取得積立資産	1,021,317	(0)	(1,021,317)	(0)
小 計	3,327,237	(0)	(1,021,317)	(2,305,920)
合 計	6,327,237	(3,000,000)	(1,021,317)	(2,305,920)

4 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	924,140	231,035	693,105	231,035
器具及び備品	565,400	80,740	242,220	323,180
合 計	1,489,540	311,775	935,325	554,215

V 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記において記載している。

2 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,417,200	888,720	0	0	2,305,920

VI 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金等	44,529	
		手元保管	釣銭準備金	50,000	
	普通預金	鹿児島銀行	運転資金等	6,643,717	
		鹿児島市役所出張所 鹿児島相互信用金庫 上町支店	スポーツ振興くじ助成金専用口座	0	
	未収金	日本スポーツ振興センター	スポーツ振興くじ助成金	709,000	
		鹿児島市ラグビーフットボール協会	育成強化費残金戻入	85,000	
		鹿児島市ゴルフ協会	育成強化費残金戻入	68,980	
		鹿児島市ゲートボール協会	育成強化費残金戻入	31,940	
		鹿児島ユナイテッドFC	賛助会費未収分	10,000	
		(株)中央スポーツ	賛助会費未収分	10,000	
		よかセンター	職場健康診断受診助成金	8,000	
	貯蔵品	切手、印紙、 文房具等	公益目的事業、管理部門で 使用するため	125,279	
	前払費用	アドビ(株)	デザインソフト使用料	74,248	
		(株)ラクスライトクラフト	メール配信システム使用料	29,700	
		よかセンター	よかセンター会費	7,200	
流動資産合計				7,897,593	
(固定資産)	基本財産	定期預金	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	公益目的保有財産として	3,000,000
	特定資産	退職給付 引当資産	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	職員6名に対する退職金の 支払いに備えたもの	2,305,920
		車両取得積 立資産	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	車両取得に備えたもの	1,021,317
	その他 固定資産	車両運搬具	軽自動車1台	公益目的事業の用に供している	231,035
		什器備品	耐火金庫1台	管理部門の用に供している	183,260
			自動紙折り機1台	公益目的事業の用に供している	82,720
			シュレッダー1台	管理部門の用に供している	57,200
	その他の 固定資産	軽自動車 リサイクル料	公益目的保有財産として	8,400	
	固定資産合計				6,889,852
資産合計				14,787,445	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)	未払金	鹿児島市	未実施事業分の予算戻入	350,000
		鹿児島パルクール	すぽどんKIDSワンデースクール講師等謝金	23,500
	未払費用	厚生労働省年金局	社会保険料 3 月分	406,580
		職員に係るもの	時間外手当 3 月分	263,219
		鹿児島市	事務所水料光熱費 1 ～ 3 月分	69,038
		瀬上印刷(株)	ホームページ保守管理委託料 1 ～ 3 月分	66,000
	預り金	その他 8 社	各種商品・サービス等	159,716
		健康保険料・厚生年金保険料 住民税		396,788
				128,500
流動負債合計				1,863,341
(固定負債)	退職給付引当金	職員に係るもの	職員 6 名に対する退職金の支払いに備えたもの	2,305,920
固定負債合計				2,305,920
負債合計				4,169,261
正味財産				10,618,184

監 査 報 告 書

令和 5 年 5 月 30 日

公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会

会長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会

監 事 高橋 雷太



監 事 小林 拓史



私たち監事は、公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会の令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの令和 4 年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上